小学生1年生～3年生の部

＊作品は原文のまま掲載しています。

宮城県知事賞

みんなでまもらないと意味がない

仙台市立寺岡小学校 三年 佐々木 与那

「交通ルールまもるあなたがまもられる」この言葉は、交通ルールをしっかりまもっている人は、事こからまもられるという意味なんだよ。とお母さんが教えてくれました。バスにのっている時も、どこかで見たことがある言葉です。でも、さい近、本当にそうなのかなと思う時があります。

少し前に、お母さんと車にのっている時、後ろの車がすごいスピードでおいこして行きました。

「おいこしてもいいの。」

とお母さんに聞くと、

「白い線だからおいこしてもいいけど、あぶないね。」

と言いました。わたしは、おいこされた時、「あんなスピードでおいこすなんて」と、少しいやな気持ちになりました。妹と自てん車にのる時も、おいこされると少しいやな気持になります。

また、ある時は、しん号きが黄色なのに、止まらずに進んだ車を見ました。

「どうして止まらないの。」

とわたしが聞くと

「交さ点のまん中で止まったら、次に青しん号の車が進めなくなるでしょ。」

と言いました。大人には、大人のルールがあるように感じました。ニュースでよく見る、あおりうんてん。まもっている方がおそいとおこられたり、わる者あつかいする人もいるようです。ルールをまもる人は、本当にまもられているのでしょうか。ルールはルールなのだから、まもるのが当たり前のはずなのに。

いそいでいる車を見て、思い出したことがあります。二年生の時、わすれ物をして、家にもどった時のことです。

「もどってきたらダメって教えたでしょ。」

お母さんにそう言われて、またいそいで家を出ました。「ちこくしたらどうしよう」「早く友だちにおいつかないと」と心ぞうがドキドキして、なみだが出そうになりました。いそいで気持ちがソワソワしていると、ルールをわすれたり、けがや事こにつながります。一つ一つのルールには、意味がある。そう感じました。

車にのっている人も歩いている人も、一人一人ちがった用事があります。いそいでいる人、おいこされていやな気持ちになる人、はじめてうんてんする人、車イスの人。みんながルールをまもらないと意味がありません。

わたしの分からない交通ルールは、まだまだあります。「いそいでいる人がいるならゆずればいいし、車も自てん車も、きょう走じゃない」お母さんから教わりました。みんながゆずり合いの心をもってほしい。みんながまもれば、ルールがみんながルールをまもってほしい。みんながまもれば、ルールがみんなをまもるからです。

宮城県警察本部長賞

大人でもしんごうをむしする

村田町立村田小学校 一年 大沼 武

ぼくのかよっている村田小学校のまえには、おうだんほどうがあります。ボタンをおすと、

「おまちください。」

と出て、あるく人のしんごうだけがぜんぶ青になります。小学校につくのに、そのおうだんほどうを二回わたります。

ようちえんのときから、おまわりさんにおうだんほどうのわたりかたをおしえてもらっているので、ちゃんとわたるときは右左右をしてからわたります。その日も、みんなで右左右をしてからわたりました。さいしょのおうだんほどうをわたって、つぎのおうだんほどうをわたろうとしたとき、友だちが

「ストップ！」

といったので、ぼくは目の見えない人がつかういろのところで止まりました。友だちもみんな、きゅうてい止しました。目のまえを、すごく大きなダンプトラックがスピードを出して、赤しんごうをむししてはしっていきました。

さいしょのおうだんほどうをわたるとき、ダンプトラックがとなりにとまっているのをぼくは見ました。ぼくのうしろからあるいてきていたおばあちゃんが、ダンプトラックがうごきだしたことに気づいて、止めようとして、うんてんしている人にむかって

「止まって！」

といいながら、手をふったのですが、トラックはうごきだしてしまったといっていました。

学校について、先生にダンプトラックにひかれそうになったことをいいました。先生は、このことをクラスのみんなにもつたえて、気をつけるようびかけました。

ぼくは、ダンプトラックをうんてんしている人は大人なので、ちゃんとしんごうで止まってくれるとしんじていました。でも、大人でもしんごうをむしするとしりました。これからは、しんごうが青でも右左右をして、気をつけておうだんほどうをわたります。

小学生1年生～3年生の部

＊作品は原文のまま掲載しています。

宮城県教育委員会教育長賞

わたしのつうがくろ

気仙沼市立松岩小学校　二年　三浦　寧

わたしの小学校までのつう学ろをしょうかいします。お家から学校まで二十五分くらいかかります。行く時はだいたい上りざかで、かえりはだいたい下りざかです。

お家を出てからさいしょに気をつけなければならないところは、しんごうきのないおうだんほどうです。お父さんにもお母さんにも「車がまってくれないこともあるから気をつけてね」と、まいあさ言われます。でも大じょうぶです。あさはおうだんほどうに黄色いはたをもった、みんせいいいんの「きく田さん」が立っているからです。きく田さんが黄色いはたで、わたしたちをあんぜんにおうだんほどうをわたらせてくれます。

つぎに、まい朝はたけしごとをしているおじちゃんの家の前であいさつをしてあるくのですが、そこはほどうがありません。だいたいの車があるいてるわたしを、大きくよけてくれるのですが、たまにすごくちかくをとおる車がいて、とてもこわいです。それにすごくスピードの早い車もたまにいます。でもあん心できる時もあります。それはみやぎこうつうのバスです。バスはとおくにいる時からとまってくれます。ちょっとせまいけど、とまっているバスのよこをとおるのはあん心です。

もうすぐ学校につきそうなところに、さいごのきんちょうするところがあります。しんごうのあるおうだんほどうです。お母さんに「青しんごうでも右と左を見てからわたるんだよ」と言われています。一回だけわたっているわたしのまえを車がとおっていってびっくりしました。それからは青しんごうでも右左を見るようにしています。

学校のまえまでつくと、校長先生がまいあさ元気にあいさつをしてくれるので、わたしもつかれがふっとびます。

かえりみちはあさと同じみちだけど、あさより少しきんちょうします。それはかえりみちはずっとどうろの左がわをあるくからです。車がわたしのうしろから来るので、車がとおると何回もびっくりします。

かえりみちは、お家のちかくのしんごうきのないおうだんほどうもきんちょうします。かえりみちは、みんせいいいんのきく田さんがいないので、わたし一人でわたるからです。でも大じょうぶです。いつもとまってくれるうんてん手さんがいます。どこにすんでいるかわからないけど、いつもとまってくれて、わたしがありがとうのおじぎをすると、ニコニコと手をふってくれるおねえさんがいるのです。それに青いかっこいい車のおじさんもかならずとまってくれます。私の下校時間によくあいます。

さいごのおうだんほどうをわたれば、わたしのお家までもうすぐです。今日もぶじにつくことができました。明日も車にきをつけて学校まであるいて行きます。

一般社団法人 宮城県交通安全協会長賞

しかく

女川町立女川小学校　一年　高橋茉広

ぼくはことしの4がつにしょうがっこうににゅうがくして、まいあさあるいてがっこうへいっています。にゅうがくまえ、よくおかあさんに、しんごうをまつときはうしろにさがってまつんだよ、といわれていました。わかったよ、とへんじをしているけど、どうしてなのか、よくわかっていませんでした。

なつやすみにはいって、いえのまえのどうろのほそうこうじがありました。けんがくしていたら、こうじのおじさんに、だんぷにのってみる?ときかれて、のせてもらいました。だんぷはおおきくて、せもたかくて、とおくまでみえました。そのときおかあさんが、いま、おかあさんのことみえる?とききました。ぼくはだんぷのうんてんせきからおかあさんをさがしたけど、みつかりませんでした。おかあさんはだんぷのまえで、ぼくのせとおなくらいまでしゃがんでいました。ぼくは、じぶんがくるまのうんてんしゅからぜんぜんみえないことをしりました。そしておかあさんが、うしろにさがってまつんだよ、とおしえてくれたりゆうもわかりました。ぼくのつうがくろは、とらっくやだんぷがたくさんはしっているので、おかあさんとしたやくそくをわすれないでとうこうしようとおもいます。

小学生1年生～3年生の部

＊作品は原文のまま掲載しています。

宮城県PTA連合会長賞

交通ルールを守る大切さ

亘理町立高屋小学校 三年　佐藤帆純

今年の四月から自転車のルールかい正が行われたとニュースで知りました。自転車のルールについてくわしく調べてみたことがなかったので調べてみました。

き本ルールである自転車安全利用五則というものがありました。車道が原則で左がわを通る、歩道はれい外で歩行者ゆう先、交さ点では信号と一時てい止を守る、夜はライトをつける、飲酒運転をしない、ヘルメットをちゃく用するようつとめるの五つです。

私は、左がわを通る、ヘルメットをちゃく用するの二つは知っていましたが、そのほかの三つは知りませんでした。今は、まだ遠くに行くことはないけれど、高学年になって自転車でかけるようになった時、もう一どルールをかくにんしてからのりたいと思います。

今は学校へは歩いて行っています。帰り道にこわいと思った事がありました。それは横だん歩道で信ごうまちをしていた時です。自転車が目の前をすごいスピードで走っていったことがありました。とてもこわくてびっくりしました。

自転車にのっているほうは、自分ではスピードが出ていないと思っていても、歩行者からみたらこわいとかんじるくらいスピードが出ている時があります。近くを通る時は、スピードに気をつけてほしいです。そして左側通行も守ってほしいと思いました。

交通事こは何で起こるのかと考えてみた時、歩行者も自転車も車も交通ルールを守らないからだと思いました。自分がルールを守らないと事こが起って相手にけがをさせたり、こわい思いをさせてしまいます。そしてたくさんの人がかなしい思いをしてしまいます。なので自分のことだけではなく、みんなのためにも交通ルールはしっかり守ったほうがいいと思います。

みなさんは、交通ルールを守れていると思いますか。歩行者も自転車も車ももう一どルールをかくにんしてみましょう。

作文の部　応募作品数

小学校１～３年生の部	３０作品
小学校４～６年生の部	５６作品
中学校の部	３８作品
合　　計	１２４作品